



【CDDP+VNB療法について】

(シスプラチン+ビノレルビン)



😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
アプレピタントカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服																					
デキサメタゾン錠 (デカドロン)	吐き気止めです	1日1回 内服																					
パロノセトロン注 デキサメタゾン注 (デキサート)	吐き気止めです	15分																					
ロゼウス注(ビノレルビン)	抗がん剤です	約5分																					
シスプラチン注	抗がん剤です	1時間																					
補液、利尿剤	腎機能保護																						



この週はお休みです。

腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。
無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。



😊 治療による副作用

注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
自覚症状	食欲不振・吐き気																					
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																				
	血管痛・静脈炎																					
		点滴の途中に、注射部分やその周りに違和感や痛みなどがあればお知らせください。																				
	口内炎																					
	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																					
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																						
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
手足のしびれ																						
	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																					
検査値	白血球減少																					
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																				
	赤血球減少(貧血)																					
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																				
血小板減少																						
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
腎機能低下																						
	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																					

●ビノレルビンによる治療中またはその後、注射部位やそのまわりに下記のような違和感を少しでも感じた場合は、我慢せず直ちに医師や看護師に伝えて下さい。
・ヒリヒリ(ピリピリ)と痛い感じがする。灼熱感がある。発赤がある。腫れてきた。血管の色が変化した。その他の違和感。



* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。本資料は参考としてお使い下さい。
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター薬剤部(代表)052-991-8121